

## 2023 年度 神戸市政策会議 概要

|      |  |
|------|--|
| 開催日時 | 2023 年 12 月 27 日（水）16 時 40 分～17 時 30 分   |
| 出席者  | 市長、副市長、市長室長、企画調整局長、企画調整局副局長、企画調整局政策課長、行財政局長、行財政局財務課長、健康局長、健康局担当局長、健康局副局長、健康局担当部長（地域医療担当）、健康局担当部長（生活衛生担当）、健康局保健所長、健康局担当部長（調整担当）、健康局健康企画課長、健康局斎園管理課長、健康局保健所保健課課長、健康局保健所保健課係長   |
| 議 題  | 健康局関連事業  |
| 提案概要 | <p>○健康局の所管する事業のうち、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;精神保健福祉対策の強化&gt;</li> <li>&lt;スマホの長時間使用による健康リスク対策&gt;</li> <li>&lt;小児初期救急医療体制の充実&gt;</li> <li>&lt;超高齢化による多死社会への対応&gt;</li> <li>&lt;銭湯の活性化&gt;</li> </ul> <p>の項目について提案および議論を行った。</p> <p>&lt;精神保健福祉対策の強化&gt;</p> <p>精神保健福祉対策として、対象者の状態に応じた支援を積極的に行うため、下記事業を提案。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種による早期支援体制の構築（アウトリーチ支援）<br/>未治療者や治療中断者など地域で精神保健に課題を抱えて生活する方に対して、受診支援、障害福祉サービスの導入や定期的な見守り等、対象者の状態に応じた支援を積極的に行うため、保健所に設置した精神科医師・精神保健福祉士・保健師等の多職種による専門的な支援を行うチームを区へ派遣し、きめ細やかな訪問対応を行う等、早期支援体制を構築。</li> <li>・退院促進支援による地域移行の推進<br/>精神科病院と行政がさらに連携を進めるための窓口となる退院促進支援コーディネーターを配置するとともに、市内精神科病院に従事する病院職員に対して、地域移行や生活を継続するための障害福祉サービス等の知識の提供や、入院患者に対して、精神科病院への入院経験等自らの経験をもとに具体的なアドバイスができるピアサポーターを活用した交流機会の提供を行う</li> </ul> |

等、積極的な退院促進の支援を行い、地域への移行を推進。

- ・自殺防止対策の強化

全自殺者のうち約4割に自殺未遂歴があることから、自殺未遂者が搬送される救急医療機関と連携し、臨床心理士等が自殺未遂者及びその家族を訪問し面接を行うことで、入院中から継続した支援体制を整えるとともに、救急医療現場における職員向けの支援技術向上のための研修の実施により、自殺再企図を防ぐ。

- ・依存症対策の強化

依存症からの回復には、周囲の依存症に関する正しい理解と関わり方が重要になることから、依存症当事者の家族に対して依存症への正しい知識や接し方などを学ぶ「依存症家族プログラム」を新たに実施するなど、家族への支援を強化。

#### <スマホの長時間使用による健康リスク対策>

スマートフォンの長時間使用による健康リスクについて啓発を行うことを提案。

#### <小児初期救急医療体制の充実>

新たに済生会兵庫県病院内に開設する「北部小児初期急病センター（仮称）」の運営を支援し、北区の小児の休日・夜間の初期救急医療について充実を図ることを提案。

#### <超高齢化による多死社会への対応>

墓地に対する市民の意識やニーズが変化している状況を受け、開催した「神戸市立墓園のあり方を検討する有識者会議」の意見を踏まえ、下記事業を提案。

- ・お墓に対する意識・ニーズの変化、墓じまい・無縁化増加への対応

子や孫に承継を前提としない墓地への需要に対応するため、鶴越墓園内に期限付き墓地を整備するとともに、自然回帰志向に対応するため、樹林葬の整備を進める。

また、市立墓園・墓地において、無縁墓調査を実施し、適正管理に取り組む。

- ・エンディングプラン・サポート

頼れる身寄りがいない低所得の高齢者に対して、自身の葬儀や納骨先などへの不安を解消するため、生前の葬儀予約・納骨予約の手続きを市が支援。

|  |   |
|--|---|
|  | <p>&lt;銭湯の活性化&gt;</p> <p>更なる銭湯の活性化を図るため、下記事業を提案。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴料金値上げ対策の継続<br/>一般公衆浴場の入浴料金の値上げ分（統制料金 450 円→490 円）について、市民の方が値上げ前の価格で利用することが出来るよう、2023 年度に引き続き、激変緩和措置を行う。</li> <li>・銭湯デジタルスタンプラリーの継続<br/>18 歳～30 歳の市民を対象に実施したデジタルスタンプラリーの結果を踏まえ、対象年齢を 18 歳～49 歳に拡大し、銭湯利用の少ない世代の利用を促進する。</li> </ul> |
| <p><b>会議結果</b><br/>(主な意見<br/>等を含む)</p> | <p>全体の方向性については了。</p> <p>○今後の検討にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <p>&lt;超高齢化による多死社会への対応&gt;</p> <p>生前の葬儀予約・納骨予約の手続き支援だけでなく、身寄りのない高齢者が自身の財産の承継などを生前に相談・意思決定できる仕組みを構築できるよう検討する。</p>  |